

前橋市緑の基本計画 ～水と緑でめぶく前橋～

<計画のテーマと方針>

第七次前橋市総合計画

将来都市像：新しい価値の創造都市・前橋

将来都市像の実現

緑の基本計画

計画テーマ：水と緑でめぶく前橋

基本方針1

前橋らしい風土を継承する

基本方針2

緑の豊かさが感じられるまちをつくる

基本方針3

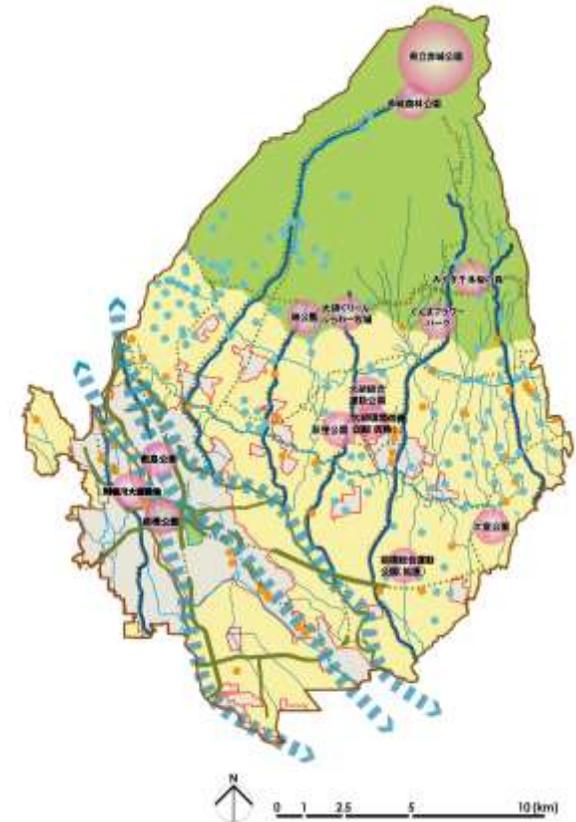
水と緑を楽しむ文化を広げる

<緑の将来構造>

基本方針	要素	配置方針	凡例
基本方針1 前橋らしい風土を継承する	風格ある県都の顔をつくる水と緑	・前橋駅前周辺や県庁・前橋公園・市役所地区の緑化重点地区を中心に県都の顔をつくります。	緑化重点地区
	郷土の風景を守る水と緑	・田園部の農環境や古墳や史跡など歴史的文化財と一体となった緑を保全・活用し、郷土の風景を守ります。	市街地周辺の田園 社寺林・古墳
	生物多様性を守る水と緑	・赤城山麓の樹林地や生態系の骨格を成す河川とその周辺の緑を保全し生物多様性を守ります。	赤城山麓の樹林地 市街地周辺の田園 骨格となる水の緑の軸 河川 農業用水 ため池

基本方針	要素	配置方針	凡例
基本方針2 緑の豊かさが感じられるまちをつくる	緑豊かなまち（市街地）	・市街地の緑化や緑の保全・更新を進め快適で安全なまちをつくります。	緑豊かな市街地
	にぎわいある公園緑地	・シンボルとなる緑の拠点の形成や新たな公園利用ニーズにあった身近な公園の再整備により、にぎわいある公園緑地をつくります。	緑の拠点となる公園
	水と緑を巡る回廊	・水と緑の資源を活かした観光や健康づくりを楽しむ散歩道のルートをつくります。	既設散歩道・街路樹 計画散歩道・街路樹
基本方針3 水と	水と緑への関心を高める	・水と緑を楽しむ活動を市全域で展開します。	水と緑を楽しむ文化を広げる（全市域）
	暮らしの中の水と緑との関わりを深める		
	水と緑を育む仲間を増やす		

■緑の将来構造



<計画期間>

計画の目標年次は上位計画である第七次前橋市総合計画と同一とし、計画期間は平成30(2018)年から令和9(2027)年度の10年間とします。

計画達成の目標年次：令和9(2027)年度

<計画実現のための施策>

前橋らしい風土を継承する

- 風格ある県都の顔をつくる
 - 都市の顔をつくる緑の整備・更新
 - 広瀬川河畔緑地の魅力向上
- 郷土の風景を守る
 - 農の水と緑の保全・活用
 - ランドマークとなる樹林や特徴的な水辺の風景の保全
 - 古墳や史跡など歴史的文化財と一体となった緑の保全・活用
- 生物多様性を守る
 - 多様な生き物が生息・生育する場の保全
 - 生き物とふれあいの場の創出

緑の豊かさが感じられるまちをつくる

- 緑豊かなまちをつくる
 - 快適なまちをつくる民有地の緑化
 - 緑のまちづくりを先導する公共空間の緑化
 - 緑の機能を維持するための適正な更新
 - 市民の安全な暮らしを守る緑のまちづくり
- にぎわいある公園緑地をつくる
 - 公園の魅力を引き出すパークマネジメントの推進
 - シンボルとなる緑の拠点づくり
 - 地域のニーズに対応する身近な公園の整備
 - 民有地のオープンスペースの活用
- 水と緑を巡る回廊をつくる
 - 観光・健康・レクリエーションネットワークの整備
 - 水辺や歴史を活かした立ち寄りスポットの整備

水と緑を楽しむ文化を広げる

- 水と緑への関心を高める
 - 水と緑に関する情報発信
 - 水と緑に関する相談機能の充実
 - 水と緑にふれあう機会の提供

- 暮らしの中の水と緑との関わりを深める
 - 水と緑との関わりを深める機会の創出
 - 緑に関わる市民活動の支援
- 水と緑を育む仲間を増やす
 - 民との連携促進
 - 水と緑に関する専門知識や技能を持った市民の育成
 - 産官学民による緑のまちづくりの推進

<施策の評価>

水と緑のまちづくりの目標を以下のとおり設定します。

改定計画		成果目標	評価指標
基本方針	施策		
1. 前橋らしい風土を継承する	(1) 風格ある県都の顔をつくる	市民が県都の緑の景観に風格を感じている	・市民満足度(アンケート)をモニタリングします。
	(2) 郷土の風景を守る	印象的な樹木群や大木の風景が守られている	・松並木などランドマークとなる印象的な樹木群や大木の指定数を増やします。
	(3) 生物多様性を守る	都市における生物多様性指標の評価が上昇している	・生物多様性指標(国交省:都市における生物多様性指標 簡易版 a~e ランク)を評価します。
2. 緑の恵みを感じられるまちをつくる	(1) 緑豊かなまちをつくる	市街地の緑が増えている	・市街地の緑化率10%を目指します。
	(2) にぎわいある公園緑地をつくる	にぎわいある公園が増えている	・Park-PFI 導入公園を増やします。 ・市民満足度(アンケート)をモニタリングします。
	(3) 水と緑を巡る回廊をつくる	赤城風景街道のルート整備が進んでいる	・赤城風景街道の利用資源を増やします。
3. 水と緑を楽しむ文化を広げる	(1) 水と緑への関心を高める	市民の水と緑への関心が高まっている	・市民の関心度(アンケート)をモニタリングします。
	(2) 暮らしの中の水と緑との関わりを深める	緑に係る市民活動が活発になっている	・暮らしに役立つ公園の評価(アンケート)をモニタリングします。
	(3) 水と緑を育む仲間を増やす	産官学民連携による取組みが進んでいる	・産官学民による緑のまちづくりのプロジェクト数を増やします。

今後整備を計画する公園についてはPFI及びP-PFIを検討し整備を行いません。